

職人魂を次の百年に

一歩足を踏み入れたときの、布ずれの音の静寂さ。思いついて大の字に寝転がったときの安心感。ほんのり漂うい草の香り。

近年、一般家庭から姿を消しつつある和室だが、その足下には職人のこだわりが詰まっていることを、ご存知だろうか。

時流の変化に対応しながら99年の歴史を刻む

畳といえば、日本家屋の足下を支える和の文化の一つだ。しかし近年はフローリング床の普及とともに、畳の需要は減りつつある。

「私が二代目である父の跡を継いだときは、殿様商売といわれるくらいたくさんのお仕事が入って来ていました」と思い返すのは、ふくもと畳店三代目の福本和生さん。若い頃は別の仕事に就いていたが、父・成雄さんの病気を機に店に入り、職人としての腕を磨いた。今でこそ機械化が進んだ畳業界だが、当時は完全な手仕事。「畳づくりなら誰にも負けない」という気持ちで仕事に取り組み、父に学びながら、職人の仕事に向き合っていた。

和生さんの時代、畳業界は変革を

在国内に出回っている畳の6〜7割が中国産のい草であることを考えると、少数派にあたる。当然、価格面では中国産を採用する同業他社に後れを取る。「今の畳業界で生き残るための方法は、商売に走るか職人仕事にこだわるかのどちらか。決して前者を否定するわけではありませんが、私たちは後者を選びます」と和生さん。

ふくもと畳店では、依頼主から仕事を受けた際、必ず自分たちで現地へ赴き、じっくりと採寸する。一見すると整った形の部屋でも、年季とともに柱や壁が歪んでいるケースも少なくない。それらの寸法を細かく測り、畳の形状に反映する。初めて向かう先には、カットサンプルではなく実際に使う予定の畳を御座の形で持参して、よりわかりやすい形で依頼主に見てもらおう。受注のうちに施工する際、畳替えに伴う家具移動や床掃除はすべて自分たちで行う。職人のこだわりは、製造工程だけではなく、依頼主に喜んでもらえる仕事に徹して初めて、職人の仕事と胸を張れると考える。

親子二代で力を合わせ次の時代を切り開く

ふくもと畳店は現在、和生さんとその次男、亮さんの二人が運営を担っている。四代目当主として家業を継いだ亮さんは、若手ならではの発想と行動力で老舗畳店の未来を見据える。その一つが、ふくもと畳店オリジナルの畳縁「和鹿奈」の開発だ。地域のデザイナーと協力し、い草や

迎える。30年ほど前から和紙製の畳

が登場し、い草に代わる選択肢が生まれた。和生さんはその良し悪しを判断するために、まずは自宅で使用。畳特有の香りこそないものの、カビや色焼けに強い長所を認め、商品に導入。その後も琉球畳に代表されるカラー畳を採用するなど、世間のニーズを積極的に取り入れてきた。「今と昔では建物のつくり自体が変わってきています。職人としてのこだわりもあります。時代の流れに対応することも、畳文化を後世に受け継ぐためには重要です」と和生さんは話す。

職人魂を受け継いだ丁寧な仕事的信条

変えられないこだわりもある。ふくもと畳店では、抜うい草畳のすべてに天然染土の国産い草を使用。現

和紙などの畳表の角を覆う畳縁の表面に、奈良の鹿と正倉院文様(葡萄唐草)のデザインを施し、商品化。メイドイン奈良のアイテムとして県外や海外からの需要を見込んでいたが、予想外に県民や市民から反応の声があつたことに亮さんは驚いた。「何か新しいことをしたい、せつかくならそれに奈良らしさを盛り込みたいと考えました。いずれは『和鹿奈』で奈良の観光産業に貢献できれば」と、亮さんは意気込む。

畳の普及活動にも力を入れる。和生さんと亮さんは2年前から地域の小学校に赴き、子どもたちが畳で小物アイテムをつくるワークショップを開催している。中には初めて畳に触れる子どももいて、「楽しい」「畳が好きになった」と評判は上々だ。今年3月には社屋をリニューアルし、一般客向けワークショップのための専用スペースを設置。人びとに畳をより身近に感じてもらうための工夫を凝らしている。

「畳業界にとって厳しい時代が続くのは目に見えています。それでも私たちはこの先も材料と技術にこだわりたい」と和生さんが変わらぬ思いを語る一方で、「お客さんにとっての価値を伝えるために、SNSなどを活用して情報発信していくことがこれからの時代はとても重要」と、亮さんは革新にも目を向ける。

職人のこだわりと時流への対応。その両方を融合させながら、ふくもと畳店は次の百年をつくり上げていくのだらう。

畳のプロに聞く豆知識

Q. 畳の良いところって?

A. い草の畳と和紙の畳それぞれに長所がありますが、特にい草には鎮静効果があり、「集中力が上がる」とされています。これは学術論文でも立証されていて、子ども部屋や学習塾に和室を設置することが増えてきています。

Q. 畳替えのタイミングはいつ?

A. 畳の一部がめくれけると畳替えの時期といえます。状態によって異なりますが、畳の厚みの大部分を占める畳床に破損などがない場合は、表替え(表面のい草や和紙の部分のみ張替え)することになります。

Q. 畳が長持ちする秘訣は?

A. よく誤解されがちなのですが、畳が汚れないようにと上にカーペットを敷くのは、隙間からゴミが入って傷みにつながる逆効果です。何も被せずに使うか、こまめにカーペットを上げて掃除するようにしてください。



四代目 福本 亮さん

三代目 福本 和生さん



information

ふくもと畳店
福原市山之坊町321

☎0744-22-4937

畳小物づくりワークショップ

完全予約制にて受付中! ■詳しくはウェブサイトから

ふくもと畳店

検索

<http://fukumoto-tatami.com/>



畳表や畳縁を縫い合わせるのには主に機械を使うが、要所で手縫いの技術も必要になってくる。職人の技術は現代でも必要不可欠だ



1枚の畳に使われるい草の本数は、畳の質によって4,000〜7,000本と異なる。打ち込み本数が多くなるほど上部で厚みのある良質な畳となる



隅のしまい方に職人としての技術が表れる。丁寧に測った寸法に合わせてびったりの形におさまるよう、細心の注意を払う



1



2



3

1.今年3月の社屋リニューアル時に新設したワークショップスペース。幅広い年代の市民が参加し、畳の魅力を知って帰っていく
2.畳表の端材や「和鹿奈」を使ったティッシュケース、キーホルダー、髪留めなどの小物は、田原本町の道の駅と大和八木駅隣接の「かしはらナビプラザ」などで販売中
3.ふくもと畳店オリジナル畳縁「和鹿奈」のカラーは黒・赤・青・黄金・小豆・若草・藤色・桜・紫・銀白の全10種類ある

「時代の流れに対応することも、畳文化を後世に受け継ぐためには重要です」